

未来の地域防災リーダーの育成

1 活動の概要

活動名	大津小学校 子ども防災士活動
対象地域	大津町
運営主体	大津小学校 子ども防災士活動運営会
活動の種類	①集いの場 ②見守り活動 ③防犯・防災活動 ④困りごと・生活相談 ⑤移動・送迎支援 ⑥地域のイベント ⑦その他（ ）
活動日時	学校の時間外で月1回実施
活動場所	大津町 他
参加費	無料（各世帯で防災バッグ等の準備を実施）
対象者	大津小学校4年生～6年生の有志
協力団体	大津小学校、大津町の防災士の方
運営財源	小学校の震災関連予算、アクサユネスコ協会減災教育プログラム助成金（令和元年度のみ）
備考	

2 活動を始めたきっかけ

平成29年度、県教育委員会より、各校に防災主任の設置が義務付けられた。防災主任の役割の一つとして、防災教育や地域・関係機関との連携が掲げられており、災害時に学校が避難所となる事も想定し、地域との連携に取り組むこととなった。もともと、学校と防災士の方々との関わりがあったため、平成29年度に子ども防災士活動運営会を立ち上げ、学校と防災士と連携して、学校時間外で活動を実施していくこととなった。

初年度は、各プログラムで希望者を募り開催。平成30年度以降は、通年プログラムとして募集。令和元年度は、12名が参加している。

3 活動の内容

- ・水消火器訓練…使い方について体験学習を実施。後日、火災避難訓練の際に消火係や使い方の発表報告を行った。
- ・ロープの結び方や台風対策の学習会
- ・防災バッグの準備…各自で防災用品を準備し確認を実施。
- ・防災フィールドワーク（地域の防災体制の確認）
- ・避難所運営ラーニング（HUG）
- ・復興見学学習会…南阿蘇村の被災状況を見学。また、西原村や宮城県気仙沼市の子ども達との意見交換会も併せて行った。

4 特徴やポイント

- ・前年に引き続き参加する児童もいるため、防災意識が高くなっている。
- ・経験者が新規参加者に実施方法を指導するなど、人材育成を行っている。
- ・参加者の意識が、次第に地域や他者との交流を考えるようになっている。

5 課題（現在と今後）

- ・子ども防災士活動の財源確保
- ・地域の防災活動等との連携

6 問い合わせ

大津小学校 ☎ 096-293-2065

